

令和五年十一月

普賢光明

華嚴宗 普賢光明寺

今月の法話

一、幸せな人生と功德 二、愛染明王の御利益

一、幸せな人生と功德

あなたは、運を信じますか？人生幸せな人は運が強いからで、私が不幸なのは運がないからだ！など言う人もいます。はたして、「運」とは何でしょう？何か分からない「運」というもので勝手に納得している人達が多くいます。確かに幸運な人、不運な人はいるように思います。しかし、どれだけ運があっても人は必ず死にます。今際の際には己の人生を思い起こすことでしよう。波乱万丈な人生、苦しいことばかりの人生、思うように人生を桜花した人、平凡だけど納得した人生、孤独な人生、あなたは今のところどんな人生を歩んでいますか？

人生はテレビや、映画でも描けないリアルドラマです。人生の途中では、良い人生だったのか、悪かったのか、まだわかりません。実はこれらのことは全て運が作用します。そこには皆さんが思う「運」ではなく過去世からの因縁や、現世の因縁が混じり合って私たちの魂に降り注がれた宇宙のエネルギーがあります。それが「運」のごとく現れていくのです。

結果オーライという言葉もありますが、すべては原因があって結果がある、これ因果といえます。そして私たちはこの因縁因果に沿って人生を歩んでいます。過去世も、現世も全て因果応報なのです。ならばどのような人生を送りたいのか？希望や想いがあるのか？それともめんどくさいから投げてしまおうのか、中には面白くないから早く終わらせたいなど、さまざまです。しかし、大事なことはあなたの人生はあなただけのものではないということです。それは命を授かったすべてのものの魂を引き継いで、偶然にもあなたに当たったのです。これは宝くじが当たるよりもずっと低い確率で授かったことを忘れないで下さい。そして授かった人生が、より幸せに充実したものとなるには幸せの種が必要で、その種となるのが功德です。功德を積んで魂を光らせることができれば自然と良い運に恵まれ、幸せな人生となります。これは先月の話にも、関連します。布施行は唯一の種。その功德をさらに円滑にする言葉。この二つが重要なのです。

ある日、お釈迦さまは弟子と共に托鉢を行きました。道が左右に別れ、右は貧者の村、左は金持ちの村でした。弟子たちは、左に行こうとしましたが、お釈迦さまは右に行かれました。弟子が「右は貧乏暮らしの村だから私たちが行っても迷惑になり、自身の食べ物すら危ういのでは？左に行きましょう。」と言うと、お釈迦さまは「だから行くのです。彼らは過去世、現世も功德を積まなかったゆえに苦しんでいる。ゆえに功德を積ませるのです。それがたとえ小粒一つでも良い。さすればその積み重ねが大きな功德になり幸せになってゆく。その布施は少ないかもしれないが私たちはありがたく頂くのですよ」と説きました。裕福な人は過去世や現世でも頑張って功德を積んだ証であり、その者たちに功德を積ませるよりも、今苦しんでいる者たちに積ませる方が後に幸せになると言っておられるのです。

布施とは修行です。単にお金のあるものが貧しい人に恵みを与えることとは違います。経を唱えた僧侶への料金でもありません。みずから施す心でお供え下さいませ。寺の建立や浄財もお布施（財施）です。一方で、財力も地位もなくてもできる七施があります。眼施、和顔施、愛語施、身施、心施、床座施、房舎施があります。笑顔は、誰でもできる言葉もだいじですね。特に愛語施は、その功德がすぐに自身に帰ってきます。日本では言葉とも呼ばれます。感謝、きれいな言葉、他を喜ばせる言葉、希望の言葉、目標などの素晴らしい言葉が沢山あります。これは音楽や映像、絵なども含まれます。言葉は素晴らしい教えや物語もあり、お経もそれにあたります。お釈迦さまの教えや真言、題目、念仏も力があります。これらは大宇宙に繋がりが私たちにエネルギーを与えてくれます。心穏やかにして言葉に変えて発する、この言葉は素晴らしいものです。そして、真逆の言葉はいくら功德を重ねても無意味となります。かえって負の因縁を増やし不幸になります。愚痴、悪口、批判や罵倒はもつてのほかです。このような人に近づくだけでも負の因縁を被ります。ネット時代の現在、書き込まれた言葉も言葉なのです。偽りの情報に惑わされないよう正しい言葉を使うこと（正語）をしてください。これが仏道修行になります。

例えば、「私は先祖や父母、社会、友人に感謝します。」「私は〇〇になることを希望します」「皆が幸せになれますように」「絶対幸せになれます」「私は観音様に守られています」「世界が平和になることを希望します」などがありますが内容は自由です。しかし、悪い心や恨み、妬みの言葉は絶対にいけません。そして最後にもう一つ、「ありがとうございます。」「この感謝の言葉は最高の功德の言葉です。希望を持ち、感謝をもって日々努力しているものに不幸はありません。すぐに結果を望んだり見返りを求めなければ、気がつくとき幸せになってゆきます。心を大切に魂を磨いて下さいませ。」

二、愛染明王のご利益

不動、愛染は仏教でも明王格の二大巨頭です。それは真言密教のみならず、日蓮宗でも曼荼羅にこの二尊の梵字を加えることから信仰の深さを知ることができます。中には両頭愛染曼荼羅と呼ばれる不動と愛染が一体となった尊像も

存在します。東大寺では俊乘堂や千手堂に安置されますし、西大寺の愛染明王などが有名ですね。

愛染明王は『金剛峯樓閣一切瑜伽瑜祇經』愛染王品第五に説かれた尊で、煩惱即菩提を表すとされます。その全身を真紅に染めた尊像は他の明王とは一線を画します。愛染明王の特徴はそのまん丸の光背にも。これは「織盛日輪」といい無上の淨菩提心を日輪が表し、燃え盛る炎は煩惱を焼き尽くす力を表現しています。

太陽はすべての衆生に等しく降り注ぐ恵みであり、私達も太陽がなければ生きていくことはできません。ゆえに多くの宗教で太陽は最高神、ないしそれに近い立場で信仰されてきました。日本においては伊勢神宮に祭られるアマテラスがそれに当たります。そして、アマテラスは愛染明王と習合した。このことから愛染明王の力の強さがわかります。

仏教において「愛」には様々な意味があります。『大般涅槃經』でお釈迦様は「愛には餓鬼愛と法愛がある」と説かれました。「餓鬼愛」は「渴愛」とも言います。「渴愛」とはお釈迦様の説かれた縁起の法(十二因縁)の一つです。十二因縁とは「苦」がどのようにして生まれるのかを十二の段階に分けて捉えたものです。渴愛はその中でも様々な「もの」に執着することで、例えば「物質への執着」「感情や感覚への執着」「存在しないものへの執着」などが挙げられます。また、自分さえ良ければ良いという我欲もこれに当たります。一方で「法愛」は「慈愛」と言い換えても良いかもしれませんが、佛の慈悲などのことです。密教では「欲」説かれますが、これは自分の欲を叶えようとする「小欲」でなく、すべての人を包み込む「大欲」を良しとしています。真の愛とはこの大欲であり、愛染明王はその力をもっているのです。この大きな愛を持ってこそ、人は苦しみから逃れることができるのです。そしてそれは非常に強い力を持ちます。その強い力で愛染明王は仏道に励まれる皆様を引っ張り上げてくださいます。大いなる愛の明王、それが愛染明王です。よくよくご祈念くださいませ。

「一粒万倍」日とは？

年末も近づいてくると「や」や「駅前」などで「宝くじ」の宣伝を目にすることが多くなってきますね。宝くじを買う日には、よく「大安」や「一粒万倍日」というものを選びたい人が多いです。この一粒万倍という言葉、実はこれは仏教から来ています。言葉としては一粒の種籾であつてもそれを育てていけば、万の粒にもなるという意味の言葉です。それゆえに、何かを始めるのに良いとされ、結婚や宝くじを買う時に良いと一般には言われています。しかし仏教においてそんな都合の良い話はありません。この一粒万倍という言葉は、『大方便報恩經』の一節から来ています。この報恩經というお経はお釈迦様の出家する前、すなわち釈迦族の王子であった時のエピソードが書かれた経典です。お釈迦様は王子としてこの国をどのように良くしていくのかを深く考えていました。貧しい人が多く、そんな彼らを救うためにお釈迦様は自分の国の蔵から財もつて救いたいと願います。もちろんそのような言い分は通らず、王からたしなめられます。ではどうすればこの貧困を救うことができるのかどうか教えてくださいと王子は言います。その返答として出てきた大臣の文言のうちの一つが一粒万倍なのです。

世間求利 莫先耕田者 種一萬倍

世間に利を求めるとき、まず田を耕すことに先立って、一粒の種を一万倍にすることは無い。つまりどのような素晴らしい成果であつてもそれは棚からぼた餅のように現れてきたものではなく絶え間ない努力によつてもたらされるものがありますよという説教だったのです。そう考えるとこの一粒万倍という日に宝くじを買うというのはまさにこの教えに背く行為です。逆にこの一粒万倍日にこそ修行・精進をし、仏様への供養を行うことです。そうすればいつかその努力が万倍にも膨れ上がり私たちの下に返ってくることでしよう。合掌

南無日月光妙法蓮華經

※十二月の勉強会は令和六年の一年を通しての御靈視アドバイスです。一年の動向を参考にして公私ともに役立ててください。個人年間靈視も受け付けています。

*十一月のラッキーカラー、暗剣殺、五黄殺(十一月九日〜十二月七日)※一年を通してのラッキーカラーは桜色です。
*暗剣殺、五黄殺とは凶方位の事で移転増築や旅行など控えた方が良い方位となります。

十一月のラッキーカラー 青 黄 白 暗剣殺 北東 五黄殺 南西

【お知らせ】

- ① 十二月の勉強会の日程：普賢光明寺(鎌倉) 十二月二日(土) 三日(日) 五日(火) 午後一時より
横須賀支部：十二月十七日(日) 横須賀市産業交流プラザ 会議室(開催場所を変更しております) 小田原支部：十二月二十四日(日) 共に午後二時より 来年一年の御靈視で口頭の内容が多くなります。ご質問もお受け致しますので是非ご出席ください。
- ② 十二月十六日、大本山東大寺において開山堂(良弁僧正像)や三月堂執金剛神像等の御開扉がございます。また同日不動堂にて当山僧侶による護摩法を行じ、二月堂と大仏殿の特別参拝もいたします。現地集合となりますが、人数の確認が必要ですので別紙にてお申込みください。(詳細は別紙でご確認ください)
- ③ 俱利伽羅不動明王初護摩法を令和六年一月二十八日(日)に厳修いたします。初護摩法により神仏のお力を授かり、皆様の祈願成就と来年一年の厄除け(星供養)をご祈念いたします。
- ④ 来年は御利益が倍増する初不動御縁日に護摩法要を行います。是非ご出席ください。詳細は別紙にてご確認ください。毎年年末に行われる煤払い(本堂等の掃除)は十二月三日(日)勉強会前に行います。集合八時半 お忙しい時期ではありませんが、心を磨く観音道場のお清めとなりますので是非ご協力をお願いします。
- ⑤ 仏像彫刻教室：十一月十九日(日) 十二月十日(日) 十二時より十五時まで。